

エクレアナマコ(奥)とエクレア(上野大輔特別研究員提供)



読んで
学べる
NIE

琉球大学理学
特別研究員の
上野大輔さん(水)
族寄生虫学
の「エクレア」に似たナマコ

エクレア似のナマコ

沖縄本島近海で発見 上野・琉大特別研究員「味は程遠い」



上野大輔特別研究員

嶺、瀬底島沖で発見されたのは真栄田は、「エクレアとは程遠い、苦みと渋みが交じった味だった」と食後の感想を語った。上野研究員は、「エクレアナマコ」と命名し、8月の沖縄生物学会誌で発表した。上野研究員によると、「通常、ダイバーが長時間を好む傾向があつた。体長は40~50秒に達する比較的大型で、黄色地に黒い斑点が背中を覆い、腹には黒い縦長の模様がある。同種のナマコは2005年と07年にオーストラリアで採集され新種発表されていた。上野さんは2000年には、真栄田岬などでダイビング中に本種を発見したが、種の特定には至つていなかつた。

「通常、ダイバーが長くとどまれない水深を好むことや、世界的にナマコを分類する専門家が少なく、発見や命名が遅れた」と説明。『県内でダイバーが観察できる身近な環境にも、まだ未知の生物が多くいることを示している』と語った。